

よこはま動物園の整備経過と集客の取り組みについて

よこはま動物園は、現在整備中の「アフリカのサバンナ」の全面開園によりすべての区域が開園しますが、よこはま動物園のこれまでの整備と施設の拡充状況、集客の取り組みについて御報告します。

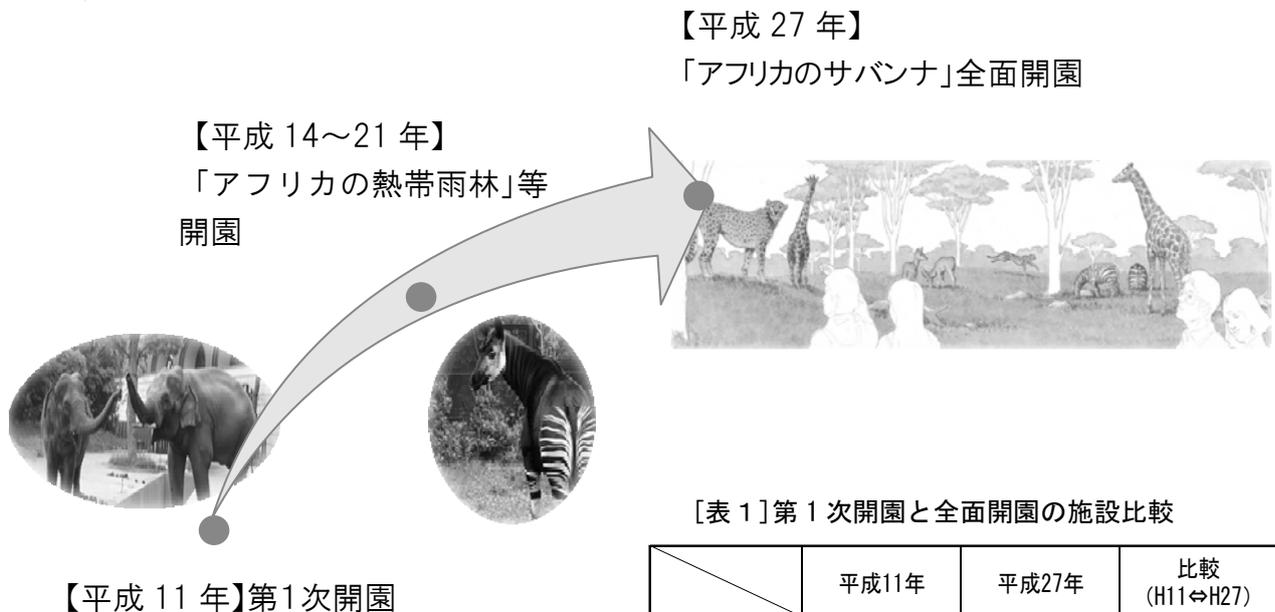
1 整備経過

よこはま動物園は、昭和62年に基盤整備に着手し平成11年に第1次開園をしました。その後、平成14年～21年まで「ぱかぱか広場」や「アフリカの熱帯雨林」などを順次開園し、平成27年春に現在整備中の「アフリカのサバンナ」が全面開園する予定です。

2 施設の拡充

「アフリカのサバンナ」の全面開園により、第1次開園と比べ園地面積が1.6倍の45.3haとなり、国内最大級の動物園となる予定です。また、動物展示場の数は1.5倍、動物種数は1.9倍となります。

さらに、「アフリカのサバンナ」では、これまでの利用者の声を反映し、動物が見えやすい整備を行っているほか、日本初の『肉食と草食動物の4種混合展示』を行う予定です。



【表1】第1次開園と全面開園の施設比較

	平成11年	平成27年	比較 (H11⇔H27)
園地面積	28.9 ha	45.3 ha	約 1.6 倍
展示場数	50 か所	75 か所	1.5 倍
動物種数	63 種	119 種	約 1.9 倍

3 集客の取り組み

よこはま動物園では、平成 22 年度の記録的な猛暑や地震の影響による外出控えを契機に来園者が減少しています。

このため、「アフリカのサバンナ」の全面開園を捉え積極的な広報を行うとともに、イベントなどにより絶えず話題を提供し、集客に努めます。

[表 2] 過年度来園者数

年度	来園者(人)
21	1, 221, 868
22	978, 791
23	959, 231
24	889, 489
25	920, 787

[図 1] 集客の取組

